

令和3年度FD・SD研修会報告書

日時：令和3年10月27日（火）13時00分から14時30分

形式：オンライン研修会

参加：参加者数42人（嘉悦大学11人、金城大学24人、金城大学短期大学部7人）

主催：嘉悦大学・金城大学・金城大学短期大学部

シンポジスト

：嘉悦大学 白鳥 成彦 教授（FD・IR推進室 室長）

：金城大学 永井 将太 教授（IR委員長）

：金城大学短期大学部 瀬戸 就一 教授（IR室長）

ファシリテーター

：金城大学 木林 勉 教授

テーマ：3大学による中退防止に関するIR的な取り組み

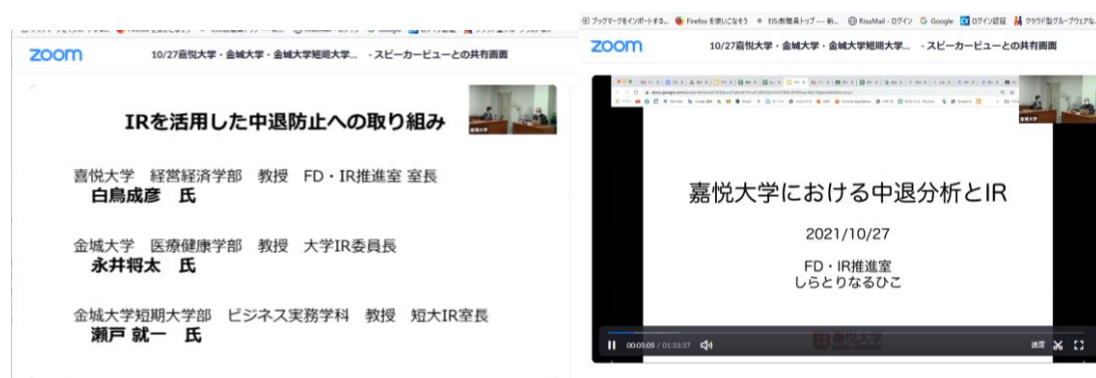
会に際し、井上嘉悦大学学長及び前島金城大学学長から挨拶をいただく。

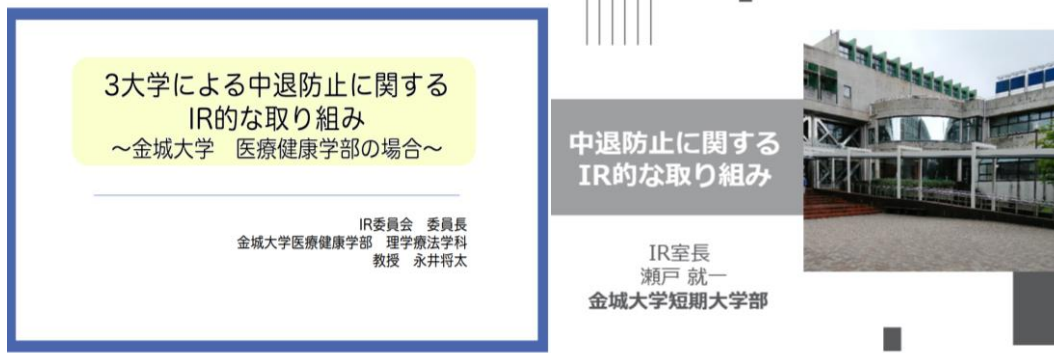
第1部

学校法人嘉悦学園 嘉悦大学、学校法人金城学園 金城大学・金城大学短期大学部にて、大学間連携協定（2015年9月締結）に基づき、中途退学者防止に関するIR的な取り組みをテーマに、合同シンポジウム（FD・SD研修会）を開催した。

各大学を代表して、3人のシンポジストが、それぞれの現状や対応策について講演した。共通の課題や共同できることもあり、今後のIR活動の発展につなげていく。

本シンポジウム（FD・SD研修会）を機に、今回は中途退学者についてだったが、また違った内容で定期的に情報共有などを行い、互いの教育活動や改善いにつなげていくことで締めくくった。





第2部 (14時40分から15時20分)

テーマ：3大学 IR 担当者による指導・助言

出席者：嘉悦大学 白鳥 成彦 教授

：金城大学 永井 将太 教授

：金城大学短期大学部 瀬戸 就一 教授

：金城大学・金城大学短期大学部 町野 圭亮 主任

第1部で講演した内容をより深掘りし、各大学の状況について話し合いを行った。

白鳥教授：嘉悦大学での具体的な IR での取り組み紹介があった。IR を動かすためのシステムとしてデータインフラ整備を行っている。「集める部分（入試データ、教学データ）など」、「まとめる部分」、「見せる部分（可視化）」をしっかりとさせる。その可視化に関しては学修ポートフォリオとして見出している。これは教員や学生のみならず保護者などのステークホルダーに対しても説明可能となる。また、学修成果の可視化の観点についても、ディプロマ・ポリシーの科目にどのディプロマ・ポリシーが関連するのか紐づけ（数値化）することで達成度をわかるように示している。ディプロマ・ポリシーと科目の設定はシラバス上で示し、ディプロマ・ポリシーと学修成果の関連性は、教員に対してワークショップを開催し理解力向上に努めている。

永井教授及び瀬戸教授：

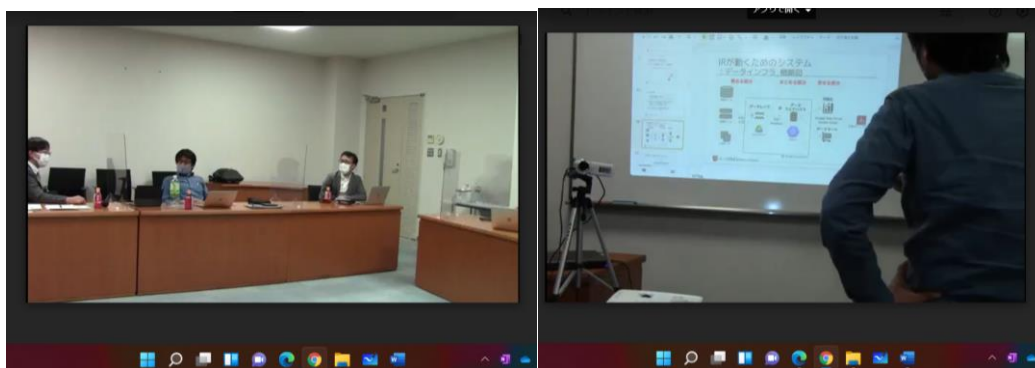
金城大学及び金城大学短期大学部に採用できるところが多々あり、できるところが進めていきたい旨の報告があった。まずはデータインフラ整備の仕方について検討していくことの必要性も感じた。リソース部分に関しては金銭面も問題もありできる部分から検討していく。

白鳥教授：大学と短大それぞれが個別に行うのではなく、共同で実施できるところは統一して行うなども一つの手段であることの助言があった。

町野：その他、金城大学では情報の利活用ポリシーの作成を検討しており、その中で個人情報の取り扱い（取得時期など）について精査している。嘉悦大学ではどのような対応しているのか伺いたい。

白鳥教授：入学の際に全体的な内容を入れた個人情報取得の誓約書を取得していることの説明があった。

以上の内容をもって、「3大学におけるIR担当者に指導・助言」をテーマにした第2部が終了した。なお、本シンポジウム（FD・SD研修会）は、今後も継続して開催していき、それぞれの大学の教育改善や発展につなげていく。また、IR関係以外でも情報共有などを行い互いの発展に寄与していく。



以上